

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名		通信指令管理事業費			担当所属	消防本部指令課			
基本情報	分野	4 安心安全		事業期間	～ 永年				
	基本施策	2 消防・救急体制の充実		会計種別					
	推進施策	1 消防力の充実		実施計画	総合戦略				
事業概要	対象	○市民							
	意図	○消防緊急通信指令システムや消防無線設備などの通信指令施設の安定稼働を継続するとともに、効果的な通信指令体制を確立することで、火災をはじめとするあらゆる災害からの被害の軽減を図ることを目的とする。							
	成果	○迅速かつ的確な通信指令業務を遂行することで、管轄内で発生した災害に対して適切かつ円滑な消防・救急体制を確保することができる。							
	手段	○各種災害の受付から指令、情報伝達までを迅速・確実に行う。(1)消防緊急通信指令システムの保守管理 (2)消防無線設備の保守管理 (3)119番の受付から指令、情報伝達などの支援業務 (4)消防緊急通信指令システムのデータ管理 (OA含む) (5)広報活動							
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		保守管理に係る契約件数		目標値	件	11	11	10	10
				実績値	件	11	11	10	-
				目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト		173,823	165,657	165,125	151,871	166,313		
	事業費		92,256	84,683	74,906	75,536	91,432		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	31,510	21,781	24,219	20,379	23,058		
		その他	0	6,485	2,889	4,272	4,549		
	一般財源		60,746	56,417	47,798	50,885	63,825		
	人件費合計		81,567	80,974	90,219	76,335	74,881		
正職員		81,567	80,974	90,219	76,335	74,881			
正職員以外		0	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	11.40	11.40	12.52	10.50	10.30			
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	通信指令業務は、緊急通報の受理から出動指令、支援情報の提供など消防業務の根幹を担っていることから、通信指令施設を適正に維持管理していく必要がある。								
	現状の周辺環境								
情報通信技術の高度化に伴い、通信指令施設に係るより専門的な知識と技術の習得が必要となってきている。									
今後の予想される周辺環境									
多様化する緊急通報へ適切に対応するとともに、通信指令業務において、高度化する情報通信技術を効果的に活用することが求められている。									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)	A	通信指令業務は、消防救急活動を円滑に遂行する上で必要不可欠な事業である。					
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A						
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	消防緊急通信指令システム及び消防無線設備の安定稼働を継続することで、消防・救急体制の充実強化を図ることができた。					
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	A						
		6. 上位施策への貢献度	A						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	消防通信指令施設を適切に維持管理することで、安定稼働を継続している。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	A						
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A	通信指令業務は、消防救急活動を円滑に遂行する上で重要な事業である。今後も、施設の安定稼働を継続するとともに、効果的な通信指令体制の構築に努めること。							
改革案	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)								

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名		通信指令強化充実事業費			担当所属	消防本部指令課		
基本情報	分野	4 安心安全		事業期間	令和2年度 ~			
	基本施策	2 消防・救急体制の充実		会計種別				
	推進施策	1 消防力の充実		実施計画	該当	総合戦略		
事業概要	対象	○市民						
	意図	指令庁舎及び消防指令システムを更新整備することで、通信指令体制の強化充実を図ることを目的とする。						
	成果	○通信指令体制の強化充実を図ることで、市民からの緊急要請に即応できる体制が確保できる。						
	手段	○指令庁舎の建設整備 ○消防指令システムの更新整備						
指標	活動指標	指標名	単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込	
		全体協議開催回数	目標値	回	7	8	14	29
			実績値	回	7	8	22	-
			目標達成度	%	100.0	100.0	157.1	-
コスト	(単位：千円)		令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	
	トータルコスト		39,532	243,884	616,460	87,334	596,556	
	事業費		13,774	218,313	598,589	54,619	571,111	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	11,900	217,800	585,800	40,800	570,000	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		1,874	513	12,789	13,819	1,111	
	人件費合計		25,758	25,571	17,871	32,715	25,445	
正職員		25,758	25,571	17,871	32,715	25,445		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	3.60	3.60	2.48	4.50	3.50		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境 消防緊急通信指令システムや消防無線設備などの通信指令施設の効率的な更新整備を進めていく必要がある。							
	現状の周辺環境 情報通信技術の高度化に伴う通信指令業務への効果的かつ効率的な活用が求められる。							
	今後の予想される周辺環境 情報通信技術の環境変化に対応するとともに、より効率的な通信指令施設の維持管理が求められる。							
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	通信指令業務を円滑に遂行する上で、消防通信指令施設の効果的な更新計画が必要である。			
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A				
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A				
	有効性	4. 計画の実施状況		A	指令庁舎の建設整備及び消防指令システムの更新整備を計画的に進めることで、通信指令体制の強化充実を図ることができた。			
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	指令庁舎及び消防指令システムの効果的な更新整備を実施している。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	指令庁舎及び消防指令システムは、通信指令業務を遂行するうえで必要不可欠であることから、今後も効果的な更新整備に努めること。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							